

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1293300107		
法人名	株式会社愛誠会		
事業所名	はなまるホーム四街道		
所在地	千葉県四街道市鹿渡593		
自己評価作成日	令和4年12月4日	評価結果市町村受理日	令和5年3月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaignokensaku.mhlw.go.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと		
所在地	千葉県千葉市稲毛区園生町1107-7		
訪問調査日	令和5年1月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>入居者様個々に合わせた介護を実践し地域のボランティアを招へいしてのイベントの実施を行っている。(コロナ禍で開催回数は減)また各階で別々のイベントを開催することで入居者様同士のコミュニケーションを深く図ることができている。入居者様と買い物や日々の掃除などの活動を検討し利用者様の自立支援につながるよう支援させていただいております。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>法人の社是である「奉仕のこころ」をホーム事務所に掲示して、朝礼で唱和し、大切にしている。自立支援として掃除、調理、盛付け、洗濯などを職員が見守りながらおこなっている。残存機能の活用を促すよい取り組みだと思われる。協力医による訪問診療が月2回、訪問看護が週1回あり健康管理をしている。また、希望者は月1回の訪問歯科を利用することができる。食事は職員が献立を考えて食材を購入し、調理して提供している。行事食や、すし、うなぎなどを楽しんでいる。入浴は利用者の希望により、午前午後を選ぶことができる。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼の時、理念を唱和している。	法人の社是である「奉仕のこころ」を事務所に掲示し、朝礼で唱和し、大切な価値観としている。職員はグループホームにおける奉仕のこころの理解に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣のお店に入居者様と買い物に行ったり、イベントに地域のボランティアさんを招いたりして交流を図っていましたがコロナ禍の為中断しています。	市の高齢者まちかど相談所として登録しており、近隣住民から相談を受けることもある。地域への認知度を高めるため、近隣の散歩コースにホーム紹介の資料ポストを設置することや、チラシなどを作成してポスティングすることを検討している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	四街道の高齢者まちかど相談所として近隣住民の相談を受けています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の為、四街道し高齢者支援課より通達があり運営推進会議は中断しています。	コロナ禍のため、市の通達で運営推進会議は書面での報告も含めて開催しないことになっている。今後、市の方向性が変更次第、開催を予定している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	行政担当者とは随時報告、相談、連絡、確認を行っています。	介護保険についてなど、市の高齢者支援課に相談し、意見をもらっている。良好な協力関係を築いている。コロナ禍で活動できていないが、市のグループホーム連絡協議会に参加している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員で理解し取り組んでいます。	「身体拘束等の適正化に関する指針」を策定し、身体拘束適正化委員会を3か月に1回開催している。職員には年2回の研修をして周知している。日常的な留意事項に関しては、管理者から指導をするようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に事業所内で研修を行っています。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を活用されている利用者が2名います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書に基づき、ご家族様等がわかりやすいように説明しています。改定等があった場合も口頭の説明だけでなく書面でのお知らせをしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話や来所時にご意見を伺って反映に努めています。	家族からの意見要望はメール、電話、面会などで聞いている。面会は事前予約の上、30分限定として相談室でおこなっている。オンライン面会も可能である。福祉用具の希望などを聞いて可能な限り対応をしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンス、会議等だけではなく、日々のヒアリングをすることで職員の意見や提案等を聞き、反映させています。	職員にはカンファレンスや会議で意見を出してもらっている。管理者が常駐しているため、職員と話をしやすい環境である。シフトの希望や倉庫の整理など、意見を反映して改善を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己評価表を用いて、目標・課題を共有し、サービス向上に繋げています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修に参加することで高齢者介護の知識等のスキルアップができています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社内研修に参加することで他事業所との交流を図りサービスの質向上に努めています。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントの際、支援についての要望等を確認しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメントの際、支援についての要望等を確認しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	訪問医療機関と連携をとり入居者様が安心して生活できるように支援しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、洗濯、調理を一緒に行い日常生活を共に送る関係築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会、外出が行えるように対応しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣への散歩など行うことで馴染みの人、場所との関係性の維持に努めています。	ホーム前の道路は近隣の散歩コースとなっており、近隣住民との交流を図ることができる。年賀状や手紙が来た場合には、電話で返事を伝えるサポートなど、希望に応えるようにしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション、食事等で職員が間に入り入居者様が孤立しないように配慮しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療機関、ケースワーカー、家族、後見人と連携し、受け入れ先や今後の方向性を検討しています。契約終了後もご家族が来訪しやすい環境を作っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その方らしく生活を送ることができるように検討しています。	入居契約時に、利用者、家族から生活歴や、暮らし方の意向を聞き取りとっている。また日常での会話や、表情、仕草から思いを把握し、タブレットに記録して職員間で共有している。利用者の望む生活を叶えるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時に確認しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアカンファレンスを開催し現状把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	状態に合わせた計画書を作成するように努めています。	個人記録、日々の申し送り、家族の意向などを踏まえて、居室担当者が利用者の状況を計画作成担当者に伝え、現状に即した介護計画となるよう努めている。計画は職員間で共有し、利用者の望む生活の実現に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、変化等を介護記録に入力して申し送りを行情報共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診の対応が難しい時には相談にのり受診対応を施設で行っています。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍の為、外部のボランティアは招待及び、地域イベント参加を自粛しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の要望により、掛かりつけの医療機関や外部受診先を選択していただきます。	訪問診療医が月2回、訪問看護師が週1回、利用者の健康管理をしている。外部の専門医には、訪問診療医の紹介で受診ができる。また訪問歯科の受診もでき、医療連携体制が整っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週1回の訪問看護で日々の状態を報告し、適宜助言を受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ソーシャルワーカー、病棟看護師等との連携を密に図り、退院前にカンファレンスを開催していただき参加しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時の段階から、看取りについての契約を締結しています。	入居契約時に利用者、家族へ、重度化した場合の対応について説明し、同意を得ている。終末期が近いと医師が判断した場合、家族に改めて説明し、ホームでの看取りについて意向確認している。ホームでは看取りの実績を持っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応時のフローチャートに基づき、対応できるよう実践しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署との連携を図り、定期的な避難訓練、自主訓練を行っています。	年2回、夜間想定も含めて避難訓練・消火訓練を実施している。消防署と連携し、指導も受けている。食料の備蓄は2日分で、発電機の備えもある。	備蓄品の一覧表を作成し、消費期限の管理、発電機等の設備の稼働訓練もおこなうことを期待する。

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の意向、訴え等を否定することなく受容、共感の精神をもって対応しています。	居室入室時のノック、排泄介助や入浴介助の際の声かけなど、利用者の尊厳を保ち、プライバシーを損なわないよう配慮している。尊厳の尊重に関する法人の研修に参加し、ケアに反映している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	行動を抑制する言語は使わず、時間を掛けて傾聴し、思いを汲みとるよう取り組んでいます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スケジュールに固執せず、一人一人のペースに合わせて柔軟に対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合わせて本人の希望に合った服装ができるように支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々に出来る範囲で、調理や盛り付けなどの準備、配膳や食器洗いなどを手伝っていただいています。	食材はネットスーパーで購入し、職員が調理している。利用者もできる範囲で盛り付けや調理の下準備を一緒におこなっている。行事食やおやつは、利用者の希望を聞いて準備し、一緒にホットケーキなどを焼いて楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者ごとに食事、水分量の記録をとり体調や希望に応じて食事、水分の量を調節して提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行う。夕食後は義歯の洗浄消毒をしています。訪問歯科の指導により個別に対応しています。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者の排泄間隔を理解し、尿意、便意のサインを見逃さないように。トイレの声掛け誘導を行っています。	タブレットを利用して排泄記録表を作成している。排泄のタイミングを利用者個別に把握し、職員間で共有している。オムツに頼らず、トイレに誘導して自立に繋げるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	消化に良いもの、繊維質や乳製品等を考慮し、水分量を多めにするなど必要に応じて対応しています。適宜、薬剤を使用しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日を設定せず日々の状態を確認し対応しています。入浴拒否があった際も無理をせず時間や人を変えて声掛けするなど利用者の希望に沿って対応しています。	週2回の入浴ができるよう、午前中から準備をおこない、利用者の希望に沿ったタイミングで風呂に入れるようにしている。ゆず湯、菖蒲湯などで季節を感じてもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	定期的になりねん交換、好みに合わせた伝統の照度や室温等、調整しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時の薬の変更には特に注意を払い、医師と薬剤師との情報共有と薬剤情報を参照、医師と薬剤師に相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ゲームや歌を織り交ぜた体操を職員と一緒にやり役割や生き甲斐をもっていただくことで気分転換を図る支援を行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	施設周辺で外気浴を提供するように努めています。	感染対策のためドライブで外出し、車中から桜を眺めたり、空き地を散歩したりしている。またホーム玄関に置かれたベンチに座り、外気浴をしてもらっている。外出制限を受け、廊下の歩行や室内でのボール遊びなどで体を動かしている。	

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣い立替制度をどう売乳し、買い物等の希望があった際は適宜対応しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が家族等とお話されたい時には相手先の都合も考慮しオンライン面会やハガキのやり取り対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空調での室温管理。適切な照明の明るさを提供しています。	リビングは明るく、清潔に掃除、整頓されていた。利用者もできる範囲で掃除に参加している。廊下は広く、手すりも設置されていて、歩行訓練をおこなうことができる。毎日、定期的に、消毒、換気をおこない、感染予防を徹底している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者の席を隣にしたり会話が弾むような配置等を行っています。お休みしたい時は居室ですごしていただいています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には自由に入居していただき、気の合う仲間同士が交流する場を提供するなど安心して生活を送れるようにしています。	利用者は個々に使いなれた本棚、チェスト、目覚まし時計、布団、家族の写真など馴染みの物を持ち込み、穏やかに過ごしている。居室には手作りの表札がかけられ、窓から空を眺めることができる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、浴室、廊下等、必要箇所に手すりを設置。トイレ居室に表札を掲示し分かりやすく利用できるようにしています。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと